

日本語学会第 151 回大会 プログラム

会 長 窪 菌 晴 夫
大会運営委員長 佐々木 冠
大会実行委員長 佐久間 淳一

期 日：2015 年 11 月 28 日（土）・29 日（日）

会 場：名古屋大学東山キャンパス（〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町）

Tel/Fax: 052-789-2200 / 052-789-2666（大会実行委員長 佐久間淳一 宛）

E-mail: lsj151nagoya@gmail.com

※駐車場はありませんので、自動車でのご来場はご遠慮下さい。

※キャンパス内は指定の場所以外での喫煙は禁止されています。

— 第 1 日（11 月 28 日） —

10:00－12:00	評議員会 (評議員の方はご出席下さい。詳細は別便の案内をご参照下さい。)	国際開発研究科（国際開発棟）8 階 多目的オーディトリウム
12:00－	受付	全学教育棟 1 階 エントランスホール
13:00－17:40	口頭発表（詳細は 2-3 頁にあります。)	全学教育棟 1 階, 2 階, 3 階
18:00－20:00	懇親会	南部食堂

— 第 2 日（11 月 29 日） —

9:30－	受付	全学教育棟 1 階 エントランスホール
10:00－12:00	ワークショップ（詳細は 4 頁にあります。)	全学教育棟 1 階, 2 階
11:30－12:50	ポスター発表（詳細は 4 頁にあります。)	全学教育棟 1 階学生ホール
13:00－13:20	会長挨拶, 開催校挨拶（名古屋大学副総長 木俣元一）, 日本語学会学会賞授賞式	経済学部（法・経本館共用館）2 階 カンファレンスホール
13:20－16:20	公開シンポジウム 「ソーシャルと言語学」 企画・司会：佐久間 淳一（名古屋大学） 「ソーシャルとイェルムスレウ」 町田 健（名古屋大学）[S-1] 「ソーシャルと比較言語学」 吉田 和彦（京都大学）[S-2] 「ソーシャルと日本語研究」 井島 正博（東京大学）[S-3]	経済学部（法・経本館共用館）2 階 カンファレンスホール

公開シンポジウムはどなたでもご参加いただけます。

■口頭発表（11月28日（土） 13:00—17:40）

	A会場（C13） 司会：[1-2] 黒木 邦彦, [3-4] 秋田 喜美, [5-7] 千田 俊太郎	B会場（C14） 司会：[1-2] 青柳 宏, [3-4] 内海 敦子, [5-7] 田村 幸誠
13:00—13:30	[A-1] 藤本 真理子 ソ系列指示詞と不定語との関連 —中古・中世を中心に—	[B-1] Yoshihito DOBASHI and Changguk YIM A prosodic approach to sentence-medial attachment of discourse particles in Korean and Japanese
13:40—14:10	[A-2] 大西 美穂 知覚の「する」の曖昧な他動性について	[B-2] Ting-Chi WEI Fragment answers in Formosan languages: Form identity and derivations
14:20—14:50	[A-3] Kiyono FUJINAGA Japanese perspective expressions in narrative: The case of quotative TO + the verbs of coming/going constructions	[B-3] 岡本 進 フィジー語の3つの動詞構造
15:00—15:30	[A-4] 後藤 秀貴 「腹」と「胸」を参照した日本語の比喩表現とその特徴 —比喩的認知を生み出す身体基盤・文化基盤の観点から—	[B-4] 山本 恭裕 イロカノ語のイデオフォン
15:30—15:50	(休憩)	(休憩)
15:50—16:20	[A-5] 姜 英淑 韓国語釜山方言の混成語形成におけるアクセント	[B-5] 久保田 樹 フィンランド語のA不定詞基本形による名詞修飾の統語的制限
16:30—17:00	[A-6] Michael KENSTOWICZ The Accent of Personal Names in South Kyengsang Korean	[B-6] グエン ティ ホン ハイ ベトナム語の名詞修飾節における関係詞の生起について
17:10—17:40	[A-7] 発表者の都合により中止	[B-7] 山部 順治 オリヤ語における小さい複文—2種類の再構成 (restructuring) —

	C会場（C15） 司会：[1-2] 沈 力, [3-4] 塚本 秀樹, [5-7] 三宅 知宏	D会場（C23） 司会：[1-2] 宮地 朝子, [3-4] 浅尾 仁彦, [5-7] 小野寺 典子
13:00—13:30	[C-1] 長野 明子, 島田 雅晴 「的」の新用法：属性叙述の範囲指定としての対照焦点	[D-1] 呉 揚 感情・感覚・知覚を表す動詞のムード・テンス・アスペクト体系
13:40—14:10	[C-2] 王 雪竹 焦点型「是…的」とムード型「是…的」再考 —統語的文構造の違いから—	[D-2] 陸田 利光 「ものだ」：本質・傾向の用法から当為の用法への認識的アプローチ
14:20—14:50	[C-3] 金 智賢 条件と主題の語用論的連続性について—日韓対照研究—	[D-3] 梅 麗莉 主体的意味の顕在化 —複合動詞「一切る」を例に—
15:00—15:30	[C-4] 金 英周, 五十嵐 陽介, 宇都木 昭, 酒井 弘 韓国語慶尚道方言における属格主語構造	[D-4] 内芝 慎也 日本語軽動詞構文における動名詞の削除と「動名詞＋する」複合体の組成
15:30—15:50	(休憩)	(休憩)
15:50—16:20	[C-5] 小菅 智也, 小川 芳樹 形式名詞補部に生じる属格主語に関する統語論的考察	[D-5] 笹野 遼平, 奥村 学 大規模コーパスに基づく日本語二重目的語構文の基本語順に関する考察
16:30—17:00	[C-6] 富山 晴仁 徳島方言の文末詞「だ」の位置と機能について	[D-6] 原田 なをみ, 高山 智恵子 日本手話のABA型構文と語順決定
17:10—17:40	[C-7] 秋庭 大悟 助動詞「まい」の統語的性質と否定推量のパターン	[D-7] 木村 博子 短縮応答の非移動分析

	E会場 (C25) 司会：[1-2] 酒井 弘, [3-4] 小泉 政利, [5-7] 杉岡 洋子	F会場 (C33) 司会：[1-2] プラシヤント・パルデン, [3-4] 青木 博史, [5-7] 新田 哲夫
13:00-13:30	[E-1] Bronwyn G. WILSON and Edson T. MIYAMOTO Proficiency effects in L2 processing of English number agreement across structurally complex material	[F-1] 高井 岩生, 林下 淳一 日本語の受動文
13:40-14:10	[E-2] 中戸 照恵, 照沼 阿貴子, 磯部 美和, 岡部 玲子, 中島 基樹, 猪熊 作巳, 稲田 俊一郎 「構造の再帰性」に関する構文横断的獲得研究 —子ども の日本語における所有句・場所句・関係節の再帰性	[F-2] 井川 詩織 内的使役状態変化動詞の構造について
14:20-14:50	[E-3] 松本 曜, 夏 海燕 直示動詞における「話者領域」と視覚性：日中英語にお けるビデオ実験による考察	[F-3] 田口 茂樹 主要部外置理論に基づく日本語使役文の考察
15:00-15:30	[E-4] 岡部 玲子, 磯部 美和 日本語の統語的複合動詞の獲得—理解実験を通して	[F-4] 高橋 英也, 江村 健介 可能動詞の形態統語論に関する一考察：接辞 <i>e</i> の分布の 観点から
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[E-5] 三好 暢博, 桑名 保智, 戸塚 将 日本語における肯定対極表現と救済効果について	[F-5] 今西 祐介, ヘファナン ケビン, 本田 盛 日本語の口語におけるテンス・アスペクトの省略現象
16:30-17:00	[E-6] 三好 伸芳 連体修飾と名詞の飽和化	[F-6] 當山 奈那 琉球語と論方言における受動動詞述語文の受影性
17:10-17:40	[E-7] 納谷 亮平, 五十嵐 啓太, 西牧 和也 左側要素が指示性を持つ複合語の効果と右側主要部の 規則	[F-7] 白田 理人 奄美喜界島上嘉鉄方言の形容詞と比較表現

	G会場 (C34) 司会：[1-2] 林 範彦, [3-4] 渡辺 己, [5-7] 呉人 恵	H会場 (C35) 司会：[1-2] 高橋 真彦, [3-4] 越智 正男, [5-7] 川原 功司
13:00-13:30	[G-1] 大西 秀幸 ラワン語ダル方言の疑問小辞	[H-1] 松田 竜宙 A Syntactic Classification of the Prenominal Clauses in Japanese
13:40-14:10	[G-2] 山田 敦士 ワ語における多音節単純語の分析	[H-2] Hisashi MORITA and Takashi IKEDA Focused Heads in <i>That</i> -Relatives
14:20-14:50	[G-3] 江畑 冬生 サハ語（ヤクート語）の受身接辞・再帰接辞・逆使役接 辞	[H-3] 山下 秀哲 Reconsidering the Constituency of Floating Numeral Quantifiers in Japanese
15:00-15:30	[G-4] 大崎 紀子 キルギス語の複雑動詞述語を受動化する三つの方法	[H-4] 矢田部 修一 The semantic inertness of medial right-node raising in Japanese
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[G-5] 山田 洋平 モンゴル語の preverb による破壊動詞化について	[H-5] 窪田 悠介 言語理論研究における「ツール」としての範疇文法
16:30-17:00	[G-6] 植田 尚樹 モンゴル語の第2音節以降の母音体系について —借用 語のデータをもとに—	[H-6] 大塚 知昇 External Pair Merge に関する考察
17:10-17:40	[G-7] 山崎 雅人 満洲語文語のふたつの具格接辞	[H-7] 中西 亮太 日本語の数量表現における名詞句削除について

■ワークショップ (11月29日(日) 10:00-12:00)

C13	[W-1] 古代文字文献を資料とした死言語の文法研究—中エジプト語・契丹語・シュメール語・西夏語の事例から— 企画・司会：荒川 慎太郎
	[W-1-1] 中エジプト語における文法研究の試み—動詞述語文を事例として— 永井 正勝
	[W-1-2] 契丹語文法研究の方法と課題—当為・可能表現の解説を例に— 大竹 昌巳
	[W-1-3] シュメール語文法研究の方法と課題—動詞接頭辞の解釈を例に— 森 若葉
	[W-1-4] 西夏語の文法研究—各種資料からみた文法語を例に— 荒川 慎太郎
C15	[W-2] 使役と事象構造: 重なる使役, 繰り返す使役 企画・司会：長屋 尚典, コメンテータ：西村 義樹, 古賀 裕章
	[W-2-1] コーパス調査から見るトルコ語の形式的二重使役 青山 和輝
	[W-2-2] バスク語の eman 「与える」と認識・知覚・飲食動詞による使役文 石塚 政行
	[W-2-3] ヒンディー・ウルドゥー語の deenaa 「与える」を用いた使役構文と多義性 田中 太一
	[W-2-4] 使役の観点から見る英語の動詞 laugh の二面性と自動詞の事象構造 野中 大輔
C23	[W-3] 日本語方言のケースマーキングのとりたて性と分裂自動詞性 企画・司会：竹内 史郎, コメンテータ：風間 伸次郎
	[W-3-1] 焦点化と格標示 下地 理則
	[W-3-2] 沖縄久高島方言の主語・目的語の格標示 新永 悠人
	[W-3-3] 九州方言における分裂自動詞性 坂井 美日
	[W-3-4] 関西方言の格標示のとりたて性と分裂自動詞性 竹内 史郎・松丸 真大

■ポスター発表 (11月29日(日) 11:30-12:50)

学生ホール	[P-1] 姜 銀実 意味論的観点からの中国語の遊離数量詞
	[P-2] 岩渕 俊樹, 幕内 充, 水落 (遠藤) 智美 かき混ぜ文の処理における名詞句の長さの影響：実験研究

研究発表会場（名古屋大学東山キャンパス）へのアクセス

■名古屋駅から（約 25～30 分）

名古屋駅 → 地下鉄東山線（藤が丘行） → 本山駅 → 地下鉄名城線（右回り）
→ 名古屋大学駅 → 1 番出口

■中部国際空港から（約 60～70 分）

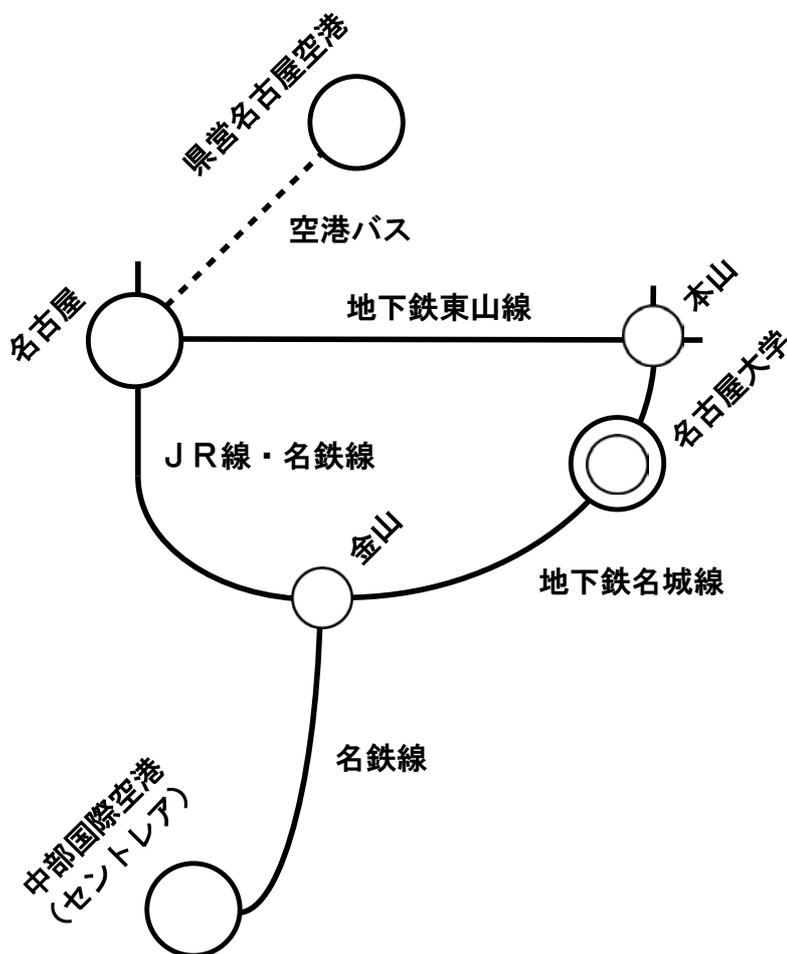
中部国際空港駅 → 名鉄線（名鉄名古屋方面） → 金山駅 → 地下鉄名城線（左回り）
→ 名古屋大学駅 → 1 番出口

※名鉄線は、すべての電車が金山駅に停車します。中部国際空港→金山間で特急ミュースカイを利用される場合は、乗車券のほか、片道 360 円の特別車両券が必要です。

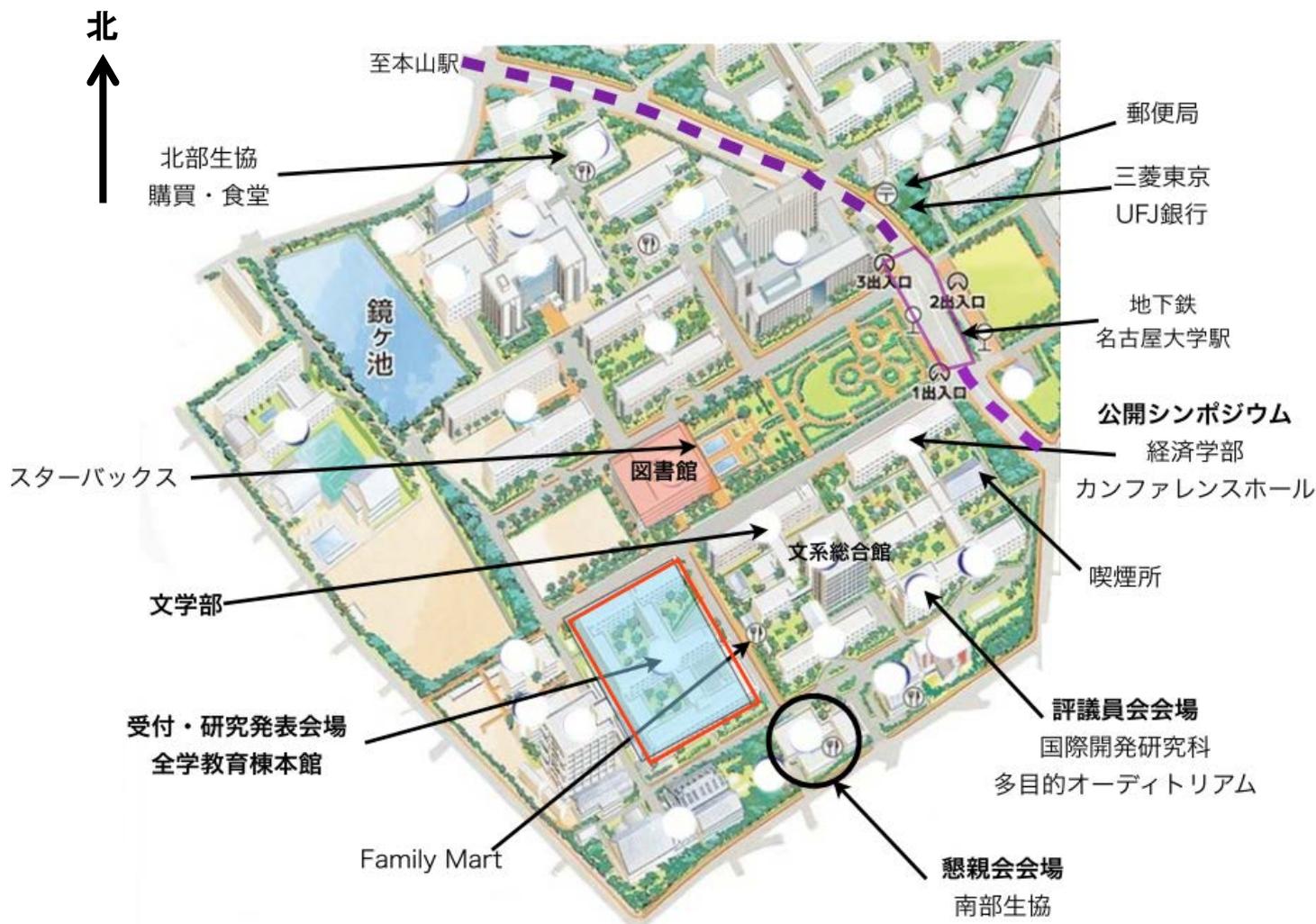
■県営名古屋空港から（約 60～70 分）

県営名古屋空港 → 空港バス（あおい交通） → 名古屋駅 → 地下鉄東山線（藤が丘行）
→ 本山駅 → 地下鉄名城線（右回り） → 名古屋大学駅 → 1 番出口

アクセスマップ



名古屋大学東山キャンパス 建物配置図



事務局からのお知らせ

◆オンライン会員情報管理システムの会員名簿相互検索機能

紙媒体の会員名簿を廃止し、学会ホームページからアクセスできるオンライン会員情報管理システム(e-naf)の会員名簿相互検索機能を採用することが決まりました。今年12月からの運用を予定していますので、会員情報(所属、住所等)や公開項目に変更が生じた方は11月中に学会ホームページの「会員専用ページ」から登録情報の更新をお願いします。

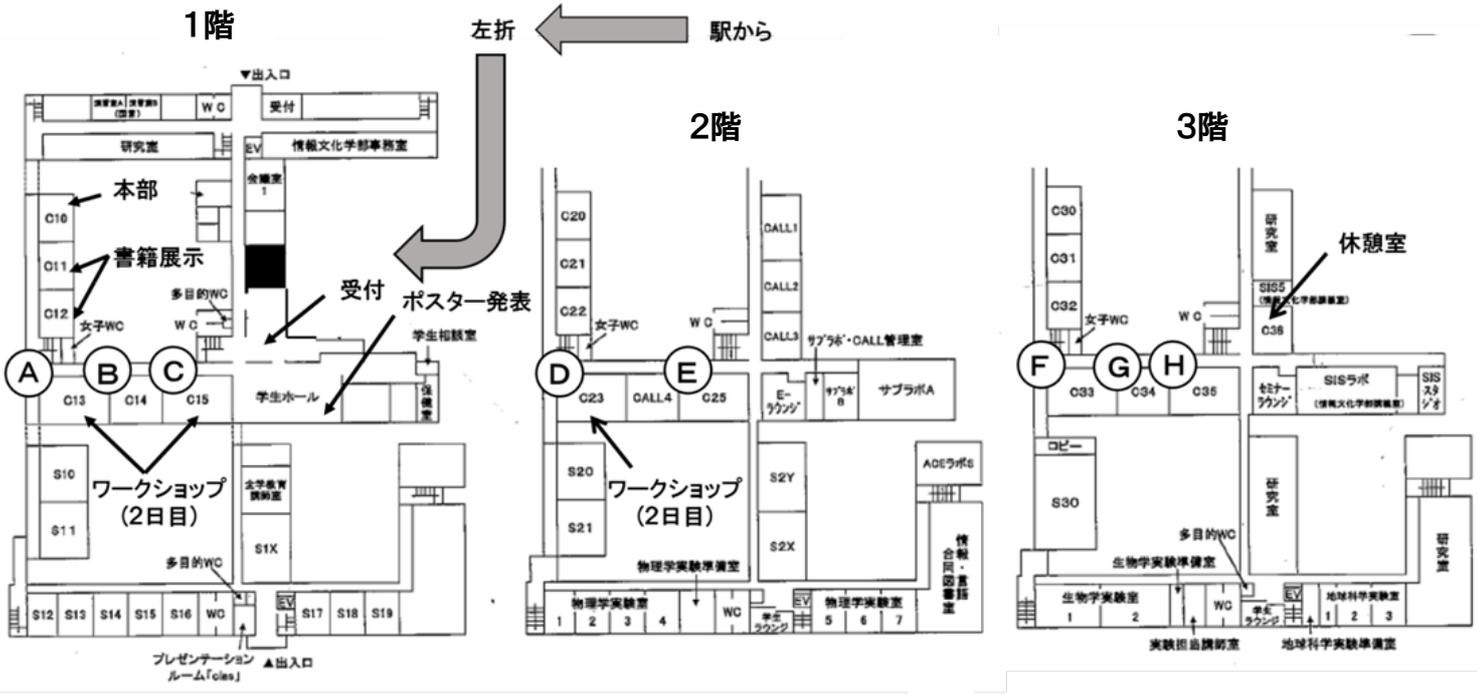
◆学会メールマガジン

今年7月よりメールマガジンの配信を開始しました。配信停止を希望される方は学会事務支局までご連絡下さい。新規の配信または配信先アドレスの変更を希望される方は学会ホームページから「会員専用ページ」に入り、登録アドレスの記入・変更をお願いします。

◆大会予稿集のPDF化

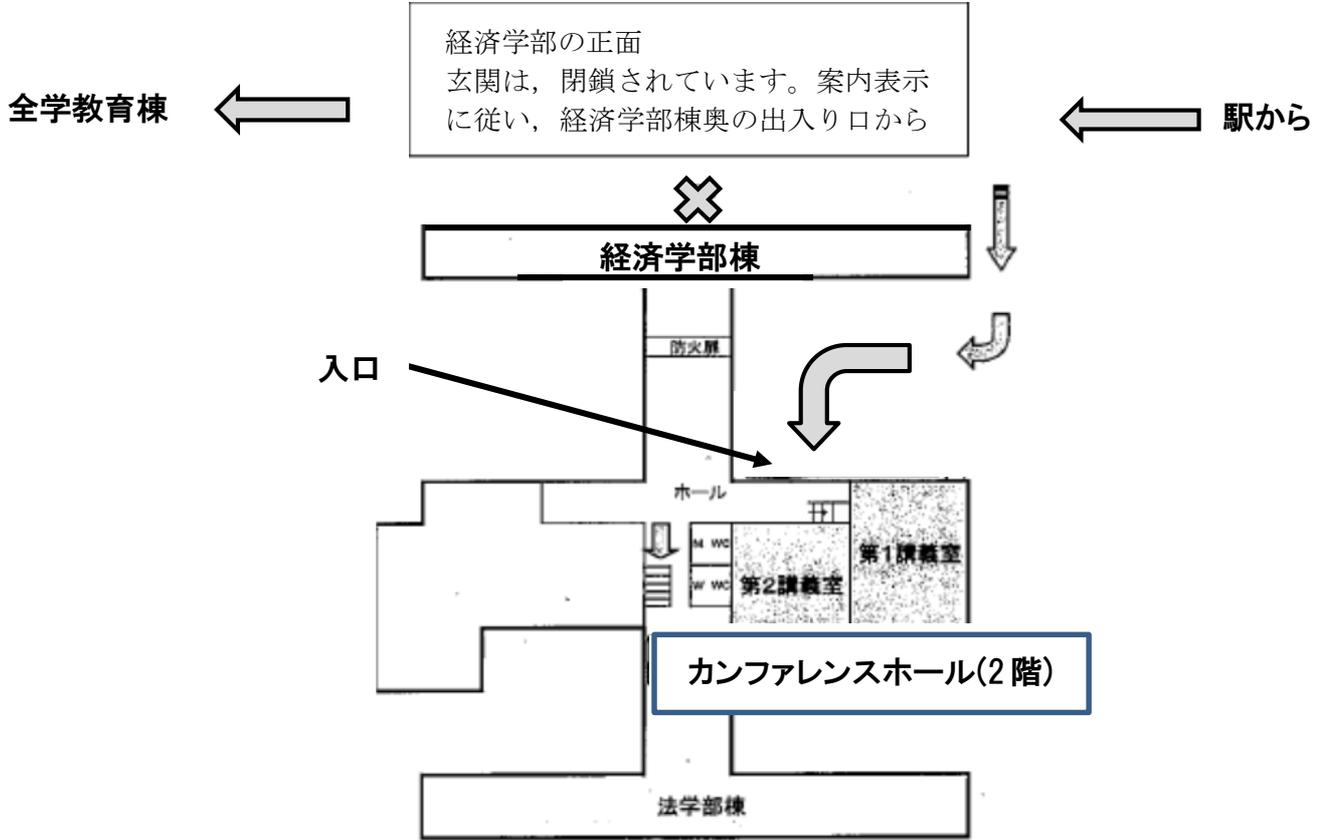
近い将来に紙媒体の予稿集を廃止し、学会ホームページにPDFとして事前公開することが決まりました。来年春以降できるだけ早い時期に新方式の運用が始まる見通しです。

会場配置図（全学教育棟本館）



経済学部カンファレンスホール（公開シンポジウム会場）

(公開シンポジウムのみ参加される方は、全学教育棟本館の受付ではなく、公開シンポジウムの会場に直接お越しください。)



お知らせ

◆出張依頼状

所属機関長宛の出張依頼状をご入用の方は、返送先を明記して切手を貼った返信用封筒を同封の上、**10月30日（金）（必着）**までに学会事務支局までお申し込み下さい。

◆大会期間の昼食について

大学内の食堂は、日曜日は営業していません。周辺の飲食店、およびコンビニエンスストアをご利用下さい。受付にランチマップを用意しますので、そちらをご参照下さい。

◆懇親会の申し込み

懇親会へ参加ご希望の方は、大会当日に受付でお申し込み下さい。会費は、一般5,000円、学生3,000円を予定しています。

◆大会参加費と予稿集

大会参加者は大会受付にて参加費（2,000円）をお支払い下さい。予稿集は参加費と引き換えにお渡しします。大会前の予約・購入は受け付けていません。

◆保育室の設置

保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は、学会ホームページ「保育室の設置について」をお読みになった上で、**11月10日（火）**までに保育室担当宛にメールでお申し込み下さい。

- ・利用可能時間：11月28日（土）12:45-18:00、11月29日（日）9:45-16:45
- ・料金：お子様1人あたり1時間につき500円

◆車椅子の利用について

ご利用希望の方は、**11月7日（土）**までにお申し込み下さい。（申込先：lsj151nagoya@gmail.com）

◆手話通訳などについて

手話通訳、ノート・テイクなどをご利用希望の方は、学会ホームページの大会案内をご覧ください。

◆書籍展示

書籍展示は、全学教育棟1階、C11・C12にて行います。

◆大会予稿集、『言語研究』のバックナンバー

前回大会に続き、今大会においても余剰分の『言語研究』バックナンバーを大会会場において無料頒布します（郵送等のサービスは行っておりません）。なお、大会予稿集および『言語研究』のバックナンバーは引き続き郵送での注文も受け付けております。購入をご希望の方は、在庫状況を学会ホームページでご確認の上、学会事務支局までお申し込み下さい。

◆クロークの設置

クロークを設置します。ご利用の方は、当日受付にお申し出下さい。

◆資料展示コーナー

会員相互の情報交換のための資料展示スペースを用意します。会員に紹介したい学会、研究会、講演会のパンフレット等を置くことができますのでご利用下さい。（配布物は当日受付にご持参下さい。）

次回大会予告（2016年春季大会：第152回大会）

場 所：慶應義塾大学三田キャンパス（〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45）

日 程：2016年6月25日（土）・26日（日）

公開シンポジウム、口頭発表、ワークショップ、ポスター発表

研究発表募集：学会ホームページから発表申し込みができます。

- ・発表応募締め切り **2016年3月20日（日）（必着）**
- ・採否通知 **2016年4月中旬**

問い合わせ先

日本言語学会事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075) 415-3661, Fax. (075) 415-3662, E-mail: lsj@nacos.com